

医療ソーシャルワーカーについて ～保健医療機関でどんな仕事をしているの?～

【医療ソーシャルワーカーとは】

医療ソーシャルワーカーという職種をご存じでしょうか。患者さんやご家族の方には、あまり聞き馴染みがない人も多いかと思います。実はソーシャルワーカーはいろいろなところで働いています。例えば行政の役所の中で働いている人もいれば、児童に関して子育ての問題や虐待などに対応する児童相談所にもソーシャルワーカーはいます。高齢者を支援する地域包括支援センターや、障害分野で働くソーシャルワーカー、最近では学校に所属して不登校や家庭問題に対応するソーシャルワーカーも増えてきました。そのなかで病院のような保健医療機関で働いているソーシャルワーカーを医療ソーシャルワーカーといいます。

【医療ソーシャルワーカーの仕事】

実際に医療ソーシャルワーカーはどのような仕事をしているのでしょうか。厚生労働省によって定められた「医療ソーシャルワーカー業務指針」には業務の範囲が次のように記されています。

医療ソーシャルワーカーは、病院などにおいて管理者の監督の下に次のような業務を行う。

- (1) 療養中の心理的・社会的問題の解決、調整援助
- (2) 退院援助
- (3) 社会復帰援助
- (4) 受診・受療援助
- (5) 経済的問題の解決、調整援助
- (6) 地域活動

厚生労働省健康局長通知 平成14年11月29日

病気や怪我などをすると病院にかかり治療をうけますが、最近は患者さんやご家族が医療に求めることは体の治療だけではなくなってきました。近年は医療



技術が進歩して今まで治らなかった病気が治療できるようになったり、病気の進行を遅らせたりすることができるようになりました。そう

すると、治療をしながら、もしくは病気や障害を抱えながら地域で生活をしていく必要があります。医療の問題だけではなく、生活・暮らしの問題を考えていかなければ、病気に対応できない状況が生じてくるようになります。そのような際に、医療ソーシャルワーカーは社会福祉の専門的な知識を持ちながら、心理・社会的問題に対応し、治療や療養の妨げになる生活上の問題を共に考え、よりよい解決への糸口を見出すお手伝いをします。



【医療ソーシャルワーカーはどこにいるのか】

保健医療機関で働く医療ソーシャルワーカーはなんと呼ばれているのでしょうか。医療ソーシャルワーカー、相談員、メディカルソーシャルワーカー、またはメディカルソーシャルワーカー (Medical Social Worker) を略してMSWと呼ぶ人もいます。実は医療ソーシャルワーカーという資格はないので、どの呼び方でも正しいと思います。実際は社会福祉系大学で専門教育を終了し、社会福祉士や精神保健福祉士の国家資格を取得して業務に従事している人がほとんどです。昨今では、ほとんどの病院で医療ソーシャルワーカーが在籍していますが、病院により医療ソーシャルワーカーが所属する部署名が異なり、「総合相談室」「地域連携室」「メディカルサポートセンター」など様々で、病院のどこにいるのかは分かりにくいかもかもしれません。

東海大学大磯病院では、2階にある「患者支援センター」に国家資格を有した医療ソーシャルワーカーが3名在籍しています。病院に通院や入院するようになり、生活面での困りごとや心配事があるようなときは、医療ソーシャルワーカーに相談してみてもいいでしょうか。



一筆者紹介— くらはし しんたろう
倉橋 慎太郎

社会福祉士
東海大学医学部附属大磯病院 患者支援センター